

各位

2014年6月10日

KNT－CTホールディングス株式会社
総務広報部（広報）担当：森川
TEL：03－6891－6839

旅行取扱状況の概観（平成26年4月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、KNT個人旅行販売、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

海外旅行の取扱いは、一般団体は前年比139.5%、学生団体は同181.1%と大きく上回り、団体旅行合計で同145.0%と前年を大きく上回った。企画旅行については前年比102.2%と前年を上回り、個人旅行についても同111.6%と前年を大きく上回った。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比112.3%と前年を大きく上回った。

国内旅行の取扱いは、一般団体は前年比104.6%と前年を上回ったものの、学生団体は同97.4%と下回り、団体旅行合計で同100.0%と前年並みであった。企画旅行については前年比101.0%と前年を上回り、個人旅行については同89.4%と前年を下回った。この結果、国内旅行総取扱額としては、99.0%と前年を若干下回った。

外国人旅行は、前年比170.1%と前年を大きく上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の4月の総取扱額は前年比104.1%となり前年を上回った。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、一般団体は大型のインセンティブ旅行や職場旅行の取扱いで前年比138.6%となった。学生団体は修学旅行および春休み期間中の海外研修等の取扱いが好調であり同181.1%と前年を大きく上回った。この結果、海外団体旅行合計で同144.3%と前年を大きく上回った。

国内団体については、一般団体は前年比104.5%、学生団体は同97.4%と前年を下回った結果、国内団体旅行合計で前年比100.0%と前年並みであった。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトは、取扱額で前年比87.3%と前年を下回った。方面別取扱人数の状況では、関西・中国四国・九州方面が好調を維持している。一方で昨年のディズニーランド30周年や、伊勢神宮の遷宮行事などの反動もあり東京近郊・伊勢志摩方面は伸び悩んだ。

ホリデイは、引き続き東アジア方面を中心として全般的に不調である。各方面とも低価格帯商品のラインナップを縮小させた影響もあり、全体の取扱人数、取扱額とも前年を下回った。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、オランダやベルギーといった西欧商品やSITやクルーズ商品が好調に推移し、前年比119.9%と大きく前年を上回った。

バス旅行を除く国内旅行部門は、主軸となる桜商品の取り込みが予想を下回り同97.6%と前年をやや下回った。

バス旅行部門は桜の開花状況の影響を受けずに販売を行うことができ、同112.3%と大きく前年を上回った。

テーマ旅行部門は、ひとり旅が引き続き堅調であり、また各種テーマ旅行も好調であり、同116.2%と前年を大きく上回った。

以上